

キャンプ座間ゴルフコースからのゴルフボール飛び出し等及びゴルフボール弾道シミュレーション調査結果の報告について

1 ゴルフボールの飛び出し等について

(1) ゴルフボールの飛び出しによる民家の破損について

ア 発生日時

令和4年4月13日（水）

イ 発生状況

ゴルフコースに隣接する住宅の住人が、屋根に物がぶつかる音が聞こえたため確認したところ、庭に破損した屋根瓦が落ちていた。

負傷者はいない。

ウ 経過等

4月22日（金）、通報を受け、直ちに防衛省南関東防衛局座間防衛事務所職員と共に当該住宅を訪問し、被害状況を確認した。破損の原因となったボールは発見に至っていないが、状況から、ゴルフコースからのボールの飛び出しに起因するものと考えられる。

(2) 近隣でのゴルフボールの発見について

ア 発見日時

令和4年4月21日（木）早朝

イ 発生状況

ゴルフコースに隣接する住宅（事案1とは異なる住宅）の住人が敷地内に落ちているゴルフボール1個を見つけた。

ウ 経過等

4月22日（金）、通報を受け、直ちに防衛省南関東防衛局座間防衛事務所職員と共に当該住宅を訪問し、ゴルフボールを確認、回収した。

この度の2件の事案を受け、本日、南関東防衛局に対し、別紙①のとおり抗議及び要請を行いました。

2 ゴルフボール弾道シミュレーション調査結果の報告について

キャンプ座間ゴルフ場内からのゴルフボール飛び出し事案が度々発生していることから、防衛省南関東防衛局が同ゴルフ場内のゴルフボール弾道シミュレーション調査を行い、別紙②のとおり調査報告を受けました。

また、今後の取組として、南関東防衛局から、

- より高さのある新たな防球ネットの設置に関し、米側との調整を進める。
- 現在行っているゴルフボールの飛び出し対策の徹底や、その他の新たな対策の実施について、引き続き米側に求めていく。

との説明がありました。

問合せ先

基地対策課

電話 042-769-8207 (直通)

キャンプ座間ゴルフコースからのボール飛び出し防止対策の徹底について

在日米陸軍が運用するキャンプ座間ゴルフコースから、これまで度々、ボールの飛び出しが発生し、その都度、再発防止の徹底を米軍に促すよう、国に求めてきました。

国におかれても、防球ネットの嵩上げなどの対策を講じられてきたところですが、今も飛び出しは発生しており、令和4年4月13日には、ボールが民家の屋根を破損させたと考えられる事故が起きました。万一、人に当たれば重大な事故にもつながりかねない極めて遺憾な事態です。

つきましては、このような事故が繰り返されることのないよう、次のとおり、国及び米軍に抜本的な対策を講じていただくことを強く要請します。

- 1 防球ネットの破損等について、緊急点検を実施すること。
- 2 住宅地に近い、5番及び6番コースについて、コースレイアウトの変更や使用するクラブの規制などの対策を講じること。
- 3 弾道シミュレーション調査結果を踏まえた効果的な対策を早期に実施すること。

令和4年4月25日

南関東防衛局長 山野 徹 殿

相模原市長 本村 賢太郎

キャンプ座間ゴルフ場内のゴルフボール弾道シミュレーション調査について

令和4年4月22日
南関東防衛局

- キャンプ座間ゴルフ場周辺におけるゴルフボールの飛び出しを踏まえ、令和3年6月～8月に6番ホールにおけるゴルフボール弾道シミュレーションの調査を実施。

【調査概要】

ヘッドスピード、風速・風向、ボール初速、バックスピン/サイドスピン量、打ち出し角度等の条件を組み合わせ、シミュレーション調査を実施

- 本調査の結果、以下のケースの場合、既存の防球ネット（高さ40m）を飛び越える可能性があることが判明。
 - ① プロ並みのハードヒッター（ヘッドスピード50m/秒程度）で、打ち出し方向が正面（ピン方向）より左方向（既存防球ネット方向）へ8度程度の振れが発生した場合
 - ② パワーヒッター（ヘッドスピード45～55m/秒）で、打ち出し方向は正面（ピン方向）であっても、バックスピン/サイドスピン量が多い場合
[参考：アマチュア男子の一般的ヘッドスピード45m/秒程度]

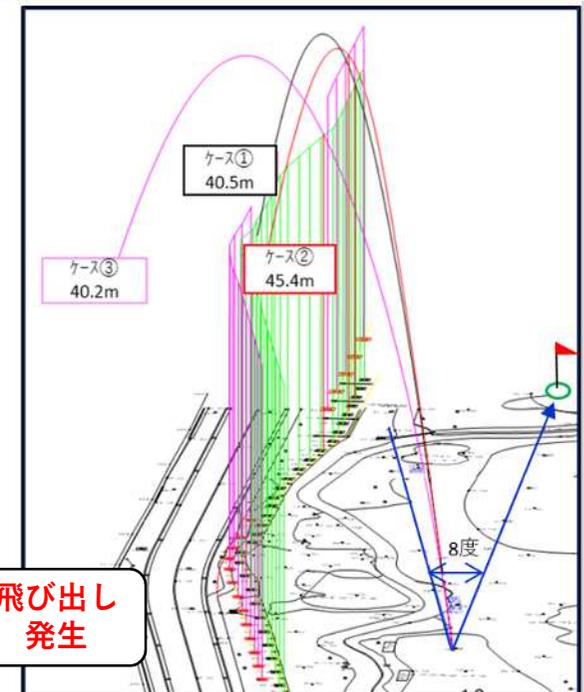
ゴルフボール弾道シミュレーション調査結果の一例

プロ並みのハードヒッター（男子・右打ち・ドライバー）						
ヘッドスピード	ボール初速	バックスピン	サイドスピン	打ち出し角度	風速	風向
50 m/S (180km/h)	71 m/S (255km/h)	3,100 rpm (回転/分)	200 rpm (回転/分)	14.5° deg(度)	① 無風	0
					② 10m/s	180° deg
					③ 10m/s	135° deg

打ち出し方向が正面（ピン方向）の場合、飛び出しなし



打ち出し方向が正面（ピン方向）より左方向（既存防球ネット方向）へ8度程度の振れが発生した場合



飛び出し発生